

未来の博士フェス 2024

～ 博士と創る、博士が輝く社会へ～



日時

2024.7.10 Wed
10:00-18:30 (開場 9:30)

会場

一橋大学一橋講堂

主催



文部科学省

共催



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

未来の博士フェス 2024

～ 博士と創る、博士が輝く社会へ～



プログラム

午前の部 10:00 ～ 12:00

- 10:00 文部科学省挨拶
- 10:30 来賓挨拶
- 10:40 博士課程学生によるショートプレゼンテーション

午後の部 13:15 ～ 18:30

- 13:15 博士を大事にする企業ピッチコンテスト
- 13:50 ポスターセッション
(学生ポスター デモ展示 / 企業ブース展示)
- 15:35 社会課題解決提案グランプリ
- 16:40 パネルディスカッション
- 18:10 閉会セッション (表彰 / 閉会挨拶 / 写真撮影)

開催概要

昨年より規模を拡大し、企業と協力して博士課程学生を応援する「未来の博士フェス 2024」を開催します。

博士課程学生によるショートプレゼンテーションや社会課題解決提案グランプリ、産業界、教育界、官公庁で活躍されている方々を交えたパネルディスカッションを通して、博士人材の強みや魅力を発信します。

また、今年度は博士を大事にする企業のピッチコンテストや「ポスターセッション」中での企業ブースの出展など博士課程学生の皆さんに企業のことを知っていただく機会も多く設けております。

博士課程学生の皆さんが主役となって、博士応援のムーブメントを巻き起こしてください。

社会人の皆様、未来の博士たちと一緒に応援しませんか？

講話



盛山 正仁

文部科学大臣
博士（法学）、博士（商学）

「未来の博士フェス 2024 ～博士と創る、博士が輝く社会へ～」にご参加いただき、ありがとうございます。本イベントは、文部科学省と科学技術振興機構の共催で、企業の皆様の御協力をいただきながら、今回2回目の開催となります。

文部科学省としては、本イベントを通じ、博士人材がアカデミアのみならず、企業やスタートアップ、国際機関等の幅広いフィールドで活躍できる能力のある人材であることを、社会に広く発信していきます。

この「未来の博士フェス 2024」の開催を追い風に、博士が日本社会を変えるムーブメントを一緒に起こしていきましょう。

ショートプレゼンテーション

登壇学生一覧

1	石倉 直武	大阪公立大学	情報学研究科	博士後期課程 2年
2	三宅沙侑美	岡山大学	社会文化科学研究科	博士後期課程 3年
3	中上敦貴	同志社大学	理工学研究科	博士後期課程 2年
4	谷川未来	名古屋大学	生命農学研究科	博士後期課程 3年
5	浪江 日和	北海道大学	農学院	博士後期課程 3年
6	田中大貴	早稲田大学	創造理工学研究科	博士後期課程 2年

(登壇順)

コメンテーター



井上 浄

株式会社リバネス 代表取締役社長 CCO (Chief Culture Officer)

博士(薬学)、薬剤師。2002年、大学院在学中に理工系大学生・大学院生のみでリバネスを設立。博士課程を修了後、北里大学助教・講師、京都大学助教、慶應義塾大学特任准教授を経て、2018年より熊本大学薬学部先端薬学教授、慶應義塾大学薬学部客員教授に就任・兼務。研究開発を行いながら、多くのベンチャー企業の立ち上げにも携わる研究者であり経営者。



榎 美紀

日本アイ・ピー・エム株式会社 Account Technical Leader

2007年にお茶の水女子大学で修士を取得し、同年、IBM 東京基礎研究所に入社。2016年にお茶の水女子大学にて博士(理学)を取得。データアクセスの高速化、ソーシャルメディアの分析、フィナンシャル・ソリューションズなどの業務に従事。2020年、日本女性技術者フォーラム(JWETF)女性技術者に贈る奨励賞受賞。



笠原 博徳

早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 教授
JST 博士後期課程学生支援事業委員会 (SPRING/BOOST) 委員長

1985年早稲田大学博士課程修了(工学博士)、カリフォルニア大学パークレー校訪問学者、学振第一回 PD 特別研究員、1986年早稲田大学専任講師、1988年助教授、1997年教授。1989-1990年イリノイ大学スーパーコンピュータ研究開発センター(CSRD)訪問学者、2018年 IEEE COMPUTER SOCIETY 北米以外から初の会長、2018-22年早稲田大学副総長、2023年 SPRING 委員長。IFAC WORLD CONGRESS 1987 第一回 YOUNG AUTHOR PRIZE、IEEE LIFE FELLOW、科学技術分野の文部科学大臣表彰、情報処理学会功績賞等受賞。



川上 悟史

経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携推進室長

2000年に通商産業省(現経済産業省 産業技術環境局)入省。大臣官房、経済産業政策局、商務情報政策局、産業技術環境局、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局(出向)、産業技術環境局大学連携推進室長(1回目)、製造産業局次世代空モビリティ政策室長、内閣官房 教育未来創造会議/新しい資本主義実現本部事務局企画官(出向)を経て、2023年7月から現職(2回目)。



澤井 大樹

株式会社 イデアラボ代表取締役

関西学院大学大学院文学研究科博士課程前期課程心理学専攻にて修士(心理学)取得後、エンジニアリング企業にてマーケティングサイエンスに関するコンサルティングに従事。2010年に株式会社イデアラボを設立。2017年、筑波大学大学院人間総合科学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得退学。専門領域は知覚心理学、生理心理学、精神物理学。



日比谷 潤子

国際基督教大学 名誉教授
JTS 次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) 委員

上智大学で学士号、ペンシルベニア大学で博士号(言語学)を取得。学位取得後は慶應義塾大学、国際基督教大学で勤務し、2012年~2020年までは国際基督教大学の学長を務めた。現在は、日本学術会議 副会長、中央教育審議会委員としても活動している。

ファシリテーター



高見 暁子

文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室長

平成14年に入省し、初等中等教育局・高等教育局・総合教育政策局や横浜市教育委員会などを経て、現職。科学技術イノベーションを担う博士人材の育成・活躍促進を目指し、政策の企画、立案および推進を行っている。

社会課題解決提案グランプリ

テーマ1： 人生120年時代の功罪、健康リテラシーの在り方は どうあるべきでしょうか？

課題提案企業：
アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社



チーム	整理番号	大学名	所属	学年	氏名
Aチーム	1	神戸大学	法学研究科	D1	呉 翰
	2	京都大学	法学研究科	D3	清水 佐弥香
	3	筑波大学	理工情報生命学術院 生命地球科学研究群	D2	野村 佳祐
	4	東京大学	工学系研究科	D3	松尾 秀明
	5	岡山大学	社会文化科学研究科	D1	宮本 あゆは
	6	京都大学	農学研究科	D1	Youn Jaehyung
Bチーム	1	京都大学	工学研究科	D2	河村 小雪
	2	名古屋市立大学	医学研究科	D1	高村 侑希
	3	九州大学	芸術工学府	D1	玉城 力
	4	東京大学	医学系研究科	D2	山田 享介
	5	東京大学	総合文化研究科	D1	李 思雨
Cチーム	1	東京大学	教育学研究科	D1	安 梓滢
	2	立命館大学	人間科学研究科	D3	大島 康寛
	3	関西大学	理工学研究科	D2	懸樋 涼
	4	神戸大学	保健学研究科	D2	姜 函林
	5	熊本大学	薬学教育部	D4	中野 武大
	6	大阪大学	生命機能研究科	D2	森山 さくら

社会課題解決提案グランプリ

テーマ2：
サステナビリティの社会浸透とその加速
－サステナブルなアクションを促進するための
新しい APP やサービスを設計！

課題提案企業：
楽天グループ株式会社



チーム	整理番号	大学名	所属	学年	氏名
Aチーム	1	広島大学	先進理工系科学研究科	D1	馬越 彩乃
	2	金沢大学	自然科学研究科	D3	王 子越
	3	東京大学	理学系研究科	D3	沖山 太心
	4	京都大学	情報学研究科	D3	張 鈞堯
Bチーム	1	神戸大学	経営学研究科	D3	Yin Tingting
	2	東京大学	農学生命科学研究科	D1	Huang Wenqian
	3	北海道大学	医学院	D1	平田 大賀
	4	奈良女子大学	人間文化総合科学研究科	D2	藤原 万葉
	5	早稲田大学	基幹理工学研究科	D1	Peralta Sien Reeve Ordonez
Cチーム	1	広島大学	人間社会科学研究科	D2	Jalali Ateffa
	2	室蘭工業大学	工学研究科	D1	西山 紗恵
	3	京都大学	医学研究科	D4	Mohamed Elsheikh
	4	筑波大学	理工情報生命学術院 システム情報工学研究群	D2	山田 貴義
	5	新潟大学	自然科学研究科	D1	Wang Tianshuo

パネリスト



遠藤 金吾

秋田県立秋田高等学校 教諭

東北大学農学部を卒業後、東北大学大学院生命科学研究科博士課程前期・後期を修了し、博士（生命科学）取得。東北大学加齢医学研究所研究員を経て、2008年に博士号教員特別選考で現職に採用。2016年より現任校で生物の授業や進路指導、理数系の探究活動の指導を担当するとともに、校外でも出張授業を行っている。



徳田 香子

世界銀行ワシントン DC 本部
保健・人口・栄養グローバルプラクティス
オペレーションズ・オフィサー

SAP 法人営業、外務省（地球規模課題総括課）、国連開発計画（UNDP）、国連 NY 本部人間の安全保障ユニットを経て2020年より現職。G7 保健大臣会合、気候変動と保健、高齢者向けイノベーション等を担当。恵泉女学園中高、慶應義塾大学総合政策学部卒業、YALE 大学経営大学院客員研究員。東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障プログラム」博士（国際貢献）。



加々美 綾乃

CIC Institute
アシスタント・ディレクター

東京大学理学系研究科生物化学専攻で博士（理学）を取得後、2012年に文部科学省に入省しライフサイエンス政策や国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の設立に携わる。2017年にマサチューセッツ工科大学に留学（修士課程）し、スタートアップエコシステムを研究。帰国後、内閣府科学技術・イノベーション事務局や文部科学省核融合分野担当を経て2021年にCICに転職。現在はライフサイエンス分野のスタートアップの成長支援や海外展開支援等に携わる。



松田 翔一

国立研究開発法人物質・材料研究機構
エネルギー・環境材料研究センター
チームリーダー

2010年に東京大学工学部応用化学科を卒業後、2015年に東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻博士課程修了（工学博士）。NIMS 若手国際研究センター ICYS 研究員を経て、2017年よりNIMS 定年制研究員。2023年より、NIMS 電気化学スマートラボチーム、チームリーダー。次世代蓄電池開発に関する研究に従事。



古波藏 契

ランドブレイン株式会社
地域政策・創生チーム主任

同志社大学大学院博士後期課程修了。博士（現代アジア研究）文科省卓越研究員としてランドブレイン株式会社に所属。省庁・自治体の地域政策支援を本業としつつ、社内研究活動も支援。専門は沖縄を対象とした歴史社会学。主な著作に『ポスト島ぐるみの沖縄戦後史』（有志舎、2023年、社会政策学会奨励賞）、『つながる沖縄近現代史』（共編著、ボーダーインク、沖縄書店大賞優秀賞）等。



吉川 真由

ARCH Venture Partners
Senior Advisor

東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、生命科学博士。南アフリカにて結核研究に携わったことを契機に「サイエンスの力で社会課題を解決する!」を人生のミッションに活動を始める。米国 VC と共に日本から世界へ羽ばたくバイオテックスタートアップの創出に取り組みつつ、自らも複数のバイオテックスタートアップの経営を行う。

ファシリテーター



水戸 晶子

文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 大学院係長

2018年にお茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻博士後期課程修了（博士（理学））。同年文部科学省に入省し、研究振興局、科学技術・学術政策局、初等中等教育局を経て、2023年より現職。社会の多様なフィールドで活躍する博士人材の育成を目指し、大学院教育に関する政策の企画、立案及び推進を行っている。

ポスター発表学生一覧

D: 博士後期課程 数字: 学年

1	北海道大学	工学院	D2	信原 佑樹
2	室蘭工業大学	工学研究科	D3	大町 知輝
3	室蘭工業大学	工学研究科	D2	谷口 美緒
4	弘前大学	理工学研究科	D3	立浪 諄弥
5	東北大学	教育学研究科	D2	春山 蘭乃
6	東北大学	農学研究科	D2	廣住 燎亮
7	東北大学	農学研究科	D2	堀井 菜摘
8	秋田大学	理工学研究科	D1	Lit Jose Mari
9	茨城大学	理工学研究科	D3	百合嶋 隆太
10	筑波大学	理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 生命農学学位プログラム	D2	野村 佳祐
11	筑波大学	人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム	D3	平野 加奈子
12	群馬大学	理工学府	D2	松原 希宝
13	千葉大学	医学薬学府	D3	濱口 紀江
14	電気通信大学	情報理工学研究科	D2	Liu Yue
15	東京大学	医学系研究科	D3	坪田 裕喜子
16	東京大学	理学系研究科	D2	古林 真樹
17	東京大学	人文社会系研究科	D3	葉 宇軒
18	東京医科歯科大学	保健衛生学研究科	D3	生田 花澄
19	東京医科歯科大学	医歯学総合研究科	D2	矢吹 真菜
20	東京工業大学	理学院物理学系物理学コース	D3	阿部 誉
21	東京工業大学	工学院システム制御系システム制御コース	D2	伊藤 匠
22	東京農業大学	国際食料農業科学研究科	D3	木原 駿太
23	東京農業大学	応用生物科学研究科	D1	濱 美里
24	東京農工大学	農学府	D3	宮田 紫帆
25	東京農工大学	工学府博士後期	D2	武藤 野乃子
26	東京薬科大学	生命科学研究科	D3	松沼 菜摘
27	東京薬科大学	薬学研究科	D3	吉澤 由佳
28	東洋大学	ライフデザイン学研究科	D3	南園 航
29	東洋大学	健康スポーツ科学研究科	D2	八嶋 奈央
30	東京理科大学	理学研究科	D3	五十嵐 大輔
31	東京理科大学	創域理工学研究科	D2	河原崎 慶太郎
32	早稲田大学	創造理工学研究科	D2	田中 大貴
33	早稲田大学	法学研究科	D3	内藤 識
34	横浜市立大学	国際マネジメント研究科	D3	丹後 健人
35	横浜市立大学	生命ナノシステム科学研究科	D3	福山 大輔
36	新潟大学	自然科学研究科	D2	土田 駿
37	富山大学	医学薬学教育部	D3	新澤 結
38	富山大学	生命融合科学教育部	D2	高木 亮磨
39	金沢大学	人間社会環境研究科	D3	岡部 睦
40	金沢大学	医薬保健学総合研究科	D2	和泉 マリナ
41	北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	D2	基村 竜晟

42	山梨大学	医工農学総合教育部	D3	加藤 晃汰
43	山梨大学	医工農学総合教育部	D2	森下 陽介
44	信州大学	総合医理工学研究科	D2	近江 ウィリアム 葵
45	信州大学	総合医理工学研究科	D2	松本 洋平
46	岐阜薬科大学	薬学研究科	D3	前澤 美佳
47	岐阜薬科大学	薬学研究科	D2	安田 啓人
48	静岡大学	自然科学系教育部	D3	小野 公輔
49	豊橋技術科学大学	工学研究科	D2	金子 光瑠
50	名古屋大学	生命農学研究科	D3	木原 もなみ
51	名古屋大学	生命農学研究科	D3	谷川 未来
52	名古屋大学	工学研究科	D3	劉 松涛
53	名古屋市立大学	薬学研究科	D4	迫田 凌太
54	名古屋市立大学	看護学研究科	D2	竹村 まどか
55	三重大学	地域イノベーション学研究科	D3	小西 凌
56	三重大学	生物資源学科	D3	齊藤 勇人
57	京都大学	医学研究科	D3	磯部 よつ葉
58	京都大学	医学研究科	D2	岸本 拓実
59	京都大学	工学研究科	D2	佐藤 弘毅
60	京都工芸繊維大学	工芸科学研究科	D2	山田 真央
61	京都工芸繊維大学	工芸科学研究科	D3	渡邊 啓佑
62	同志社大学	文化情報学研究科	D3	柚木 慎太郎
63	立命館大学	人間科学研究科	D3	大島 康寛
64	立命館大学	情報理工学研究科	D2	Shi Xiaoyu
65	大阪大学	連合小児発達学研究科	D2	佐々木 翼
66	大阪大学	工学研究科	D3	He Manjie
67	大阪公立大学	工学研究科	D2	水原 葵
68	関西大学	外国語教育学研究科	D2	中西 洋平
69	関西大学	理工学研究科	D2	西上 翔磨
70	神戸大学	人間発達環境学研究科	D3	多田 駿介
71	神戸大学	システム情報学研究科	D2	山添 隆志
72	兵庫県立大学	情報科学研究科	D3	三林 亮太
73	奈良女子大学	人間文化総合科学研究科	D3	郭 一博
74	奈良女子大学	人間文化総合科学研究科	D3	華 爽
75	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	D3	赤部 知也
76	奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	D2	國方 俊彰
77	島根大学	Graduate school of medicine	D3	Sohel Hasibul Islam
78	岡山大学	自然科学研究科	D3	林 姫花
79	岡山大学	社会文化科学研究科	D3	三宅 沙侑美
80	広島大学	人間社会科学研究科	D3	平見 真希人
81	広島大学	統合生命科学研究科	D2	望月 匠峰
82	山口大学	共同獣医学研究科	D4	山田 悠介

83	徳島大学	創成科学研究科	D1	政岡 翔
84	愛媛大学	理工学研究科	D2	光井 和輝
85	高知工科大学	工学研究科	D2	中林 真宏
86	九州大学	芸術工学府	D1	玉城 力
87	九州大学	工学府	D2	韋 雪凜
88	九州工業大学	工学府	D2	梅野 錬
89	九州工業大学	情報工学府	D2	山本 颯真
90	長崎大学	工学研究科	D3	岡部 柔吾
91	長崎大学	工学研究科	D3	山田 基貴
92	熊本大学	自然科学教育部	D3	宮崎 一貴

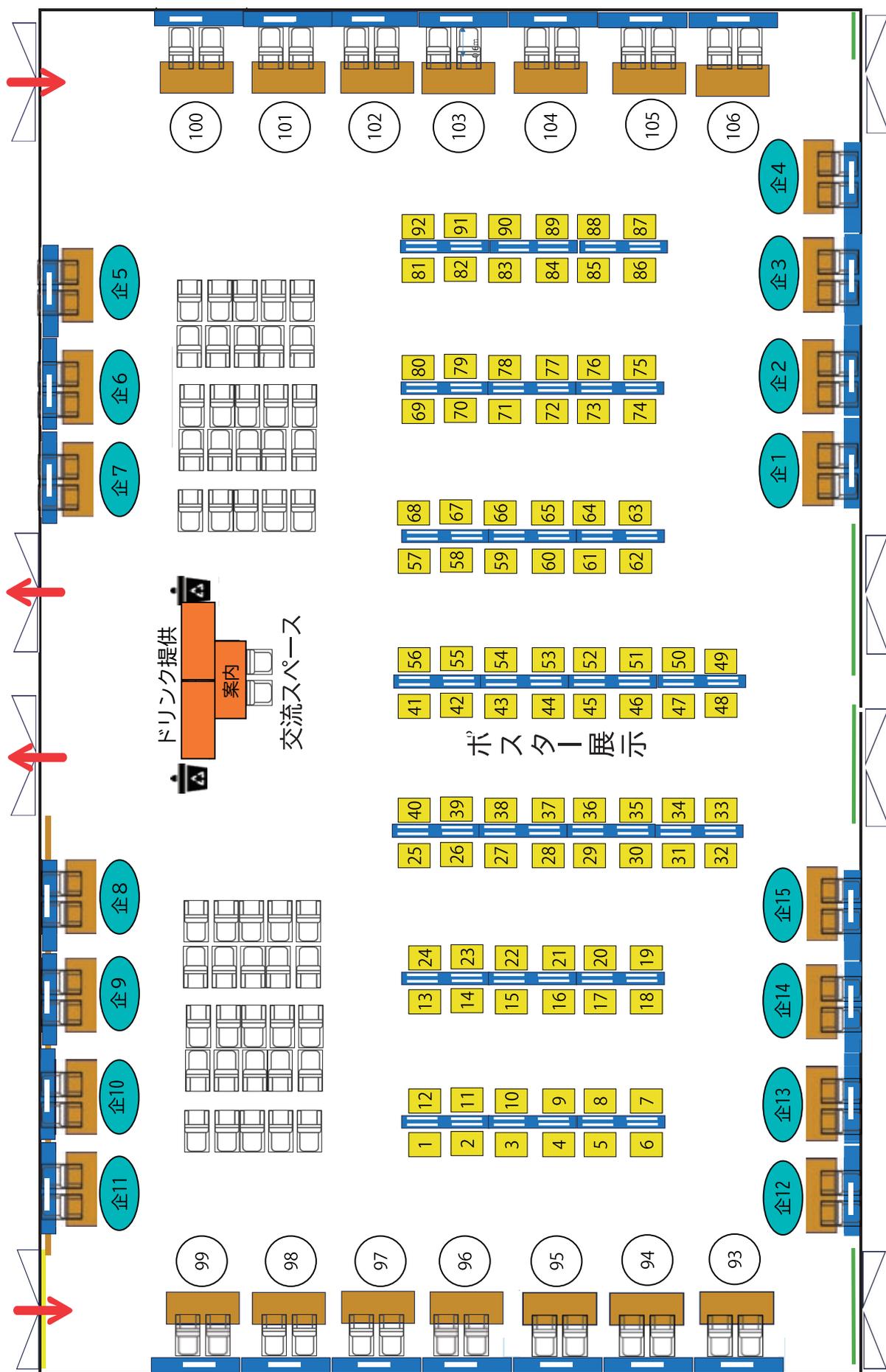
ポスター発表（デモンストレーション実施）学生一覧

93	北海道大学	文学院	D3	松元 晶
94	秋田大学	Mineral Processing and Extractive Metallurgy Graduate School of International Resource Sciences	D2	Buronov Azizbek Bolikulovich
95	筑波大学	人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 デザイン学学位プログラム	D2	呉 雲輝
96	千葉大学	融合理工学府	D1	佐藤 夏帆
97	慶應義塾大学	政策・メディア研究科	D3	新田 莉生
98	慶應義塾大学	システムデザイン・マネジメント研究科	D3	松本 凱斗
99	東京都立大学	システムデザイン研究科	D1	宮崎 仁美
100	北陸先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	D2	中村 太一
101	豊橋技術科学大学	工学研究科	D2	本所 然
102	京都府立医科大学	医学研究科	D3	野地 亮太
103	同志社大学	理工学研究科	D2	中上 敦貴
104	甲南大学	自然科学研究科	D3	張 伯聞
105	島根大学	医学研究科 解剖学講座（神経科学）	D4	Xinalng Liu
106	北九州市立大学	国際環境工学研究科	D2	山手 健矢

ブース出展企業一覧

1	株式会社 アカリク	6	株式会社 サイバーエージェント	11	富士通 株式会社
2	旭化成 株式会社	7	塩野義製薬 株式会社	12	三井化学 株式会社
3	株式会社 イデアラボ	8	住友化学 株式会社	13	株式会社 LabBase
4	株式会社 エマージングテクノロジーズ	9	株式会社 東芝	14	株式会社 リバネス
5	キリンホールディングス 株式会社	10	日本電気 株式会社	15	文部科学省

ポスター・企業ブース MAP (2階 中会議場)



博士を大事にする企業ピッチコンテスト参加企業

各企業が「博士を大事にする取組」を発表し、参加者投票で最優秀企業を決定します。

(五十音順)

イデアラボ

CyberAgent.

SHIONOGI

SHIMADZU
Excellence in Science

住友化学

LabBase

企業ブース出展企業

(五十音順)

アカリク
Acaric

AsahiKASEI

イデアラボ

EMERGING
TECHNOLOGIES

KIRIN

CyberAgent.

SHIONOGI

住友化学

TOSHIBA

Orchestrating a brighter world
NEC

FUJITSU

三井化学

LabBase

Leave a Nest
The Knowledge Manufacturing Platform

未来の博士フェス 2024

～ 博士と創る、博士が輝く社会へ ～

2024年7月10日（水）開催
場所：一橋大学一橋講堂
主催：文部科学省（MEXT）
共催：科学技術振興機構（JST）